

【公開版】

2023年3月3日  
日本原燃株式会社

## 事業変更許可及び整理資料における不適切な記載について 原因分析結果と是正処置に関する報告

### 1. 概要

2022年12月26日の第2Gr設工認申請へ向けて、事業変更許可時の有効性評価に関する評価内容及び関連する補足説明資料の精査（設工認申請書を作成するための品質チェック）等を進めてきたところ、事業指定基準規則「第28条 重大事故等の拡大の防止等」における「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」に関する事業変更許可 添付書類八及び第28条の整理資料に誤記を確認した。

上記の誤記を受け、1月10日にCAP（Corrective Action Program）システムにおけるCR（Condition Report）登録を行い、1月11日に不適合と判断し、不適合処置として誤記の原因分析を行い、原因として以下の5点を特定した。

- ✓ 「マスターファイル（計算シート）の流用先における適用性の未確認」
- ✓ 「マスターファイル（計算シート）の流用に伴うチェック箇所の不足」
- ✓ 「インプットがどのような意図で設定されているかの確認不足」
- ✓ 「計算結果の転記元及び転記先の表の並びの未確認」
- ✓ 「計算シートの修正点の再チェックの未実施」

事業指定基準規則全条文に係る事業変更許可本文及び添付書類を対象として、これらの原因に起因する誤記がないか調査を行い、本文記載事項に誤記はないこと並びに添付書類八及び整理資料に誤記がないことを確認した。

これらの原因により発生した誤記は、既存の社内標準類に沿って適切に検証を行うことで回避できたものであり、検証プロセスの一部がスキップされていたことが主たる要因であることから、必要なエビデンスを用いた徹底したチェックの実施及び全体の横通しを管理した体制でのチェックの実施により再発を防止できると考えられる。

以上のことから、今回の事象を埋設事業部、濃縮事業部、燃料製造事業部及び再処理事業部内に周知し、社内基準に基づくチェックを行う上で留意すべき事項を再認識することにより再発防止を図ることとした。

また、本資料では、不適合の処置として「事業指定（変更許可）の誤記発生個所の前後表」を添付資料1として添付する。

なお、本件については、2023年1月19日に応急処置の状況として推定原因及び事業変更許可本文記載事項に影響がない旨を報告している。今回特定した原因は、2023年1月19日に報告した推定原因とは一部異なるが、十分なエビデンスを用いた網羅的なチェックが不

足していたことが原因の本質であることから、本文記載事項等に誤記がないことの結論は同じである。

2. 事業指定基準規則「第 28 条 重大事故等の拡大の防止等」における「冷却機能の喪失による蒸発乾固」及び「放射線分解により発生する水素による爆発」において確認した誤記内容，原因及び事業変更許可への影響

(1) 誤記内容

確認した誤記内容を第 1 表に示す。

第 1 表 確認した誤記内容について

No.	事象	誤記内容	事業変更許可 該当箇所
①	蒸発乾固	高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度の間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：8-7-167, 247, 250, 342, 348, 349, 783, 785, 823, 825 ページ 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3128, 3130 ページ
②	蒸発乾固	プルトニウム濃縮液受槽のコイル通水除熱評価の間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：8-7-176, 255 ページ 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3204 ページ
③	蒸発乾固	分離建屋 5 貯槽、精製建屋 2 貯槽のコイル通水除熱評価の間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：8-7-250, 255 ページ 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3202～3204 ページ
④	蒸発乾固	高レベル廃液濃縮缶のコイル通水除熱評価の間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：8-7-167, 250 ページ 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3203 ページ
⑤	蒸発乾固	高レベル濃縮廃液貯槽及び高レベル廃液共用貯槽のコイル通水除熱評価の間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：8-7-167, 265 ページ 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3207 ページ
⑥	蒸発乾固	中間ポットの除熱評価の転記間違い	令和 4 年 7 月 25 日一部補正 添付書類八：記載なし 令和 2 年 7 月 13 日提出 整理資料：” 第 2 8 条：重大事故等の拡大防止等” 3201 ページ

No.	事象	誤記内容	事業変更許可 該当箇所
⑦	蒸発乾固	第6一時貯留処理槽のコイル通水除熱評価の転記間違い	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：記載なし 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 3203ページ
⑧	蒸発乾固	除熱評価結果の整理資料への転記間違い（高レベル廃液ガラス固化建屋内部ループ通水及び前処理建屋～高レベル廃液ガラス固化建屋冷却コイル等通水）	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：記載なし 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 3199, 3201～3207ページ
⑨	蒸発乾固	整理資料補足説明資料7-2 2.1.3 第2. -1, 2, 3表への計算シートからの転記間違い	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：記載なし 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 3127, 3128ページ
⑩	水素爆発	CA硝酸プラトニウム貯槽の水素濃度の推移評価（水素濃度を高めに評価）	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：8-7-528ページ 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 4351ページ
⑪	水素爆発	時間余裕の不整合	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：8-7-362, 363ページ 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 4223, 4366～4368ページ
⑫	水素爆発	空気の供給に伴う気相への移行率計算に用いる液量の不整合	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：8-7-453, 454ページ 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 4335, 4336ページ
⑬	水素爆発	水素発生速度，空気供給流量の不整合	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：8-7-472, 473ページ 令和2年7月13日提出 整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 4374ページ
⑭	水素爆発	硝酸濃度の不整合	令和4年7月25日一部補正 添付書類八：8-7-456ページ 令和2年7月13日提出整理資料：”第28条：重大事故等の拡大防止等” 4364ページ

## (2)原因及び対策

今回の誤記に係る原因と対策の概要は、以下のとおりである。

また、誤記の発生原因の分析の内容を第2表及び第3表に示す。

### a. ①，②，③，⑩の原因と対策

#### 【発生経緯】

- ✓ 設計チェックを行ったマスターファイル（計算シート）が存在し、当該計算シートを流用する形式で複数の評価を行ったが、流用を重ねたことを背景としてマスターファイ

ル（計算シート）の内容が変わる（自動入力箇所が手動入力になる等）の問題が発生した。マスターファイル（計算シート）はチェック済みという認識で評価を行ったために本問題に気づけず、誤った評価をしてしまった。

**【原因】**

- ✓ 設計者は、マスターファイル（計算シート）を流用する形式で複数の評価を行ったが、マスターファイル（計算シート）には流用を繰り返したことで、流用先で計算シートが適用できないこと（原因Ⅰ）、修正したにもかかわらずチェックされていないこと（原因Ⅴ）といった問題が生じていた。設計者は、設計チェック済のマスターファイル（計算シート）を用いているという考えから、流用先においてチェック済みの部分について適切な計算がされているかの確認を怠った。また、他の設計者及び責任者は、チェック箇所の確認を行ったが、チェック箇所以外については正しい内容であるか否かをエビデンス等により確認しなかった（原因Ⅱ）。

**【対策】**

- ✓ 本事象当事者は、マスターファイル（計算シート）を流用する形式で複数の評価を行った同様の事例について、事業指定基準規則全条文担当を対象とし、マスターファイル（計算シート）の全数チェックを行う。また、マスターファイル（計算シート）を流用する形式でない場合においても、計算シート自体の再チェックを行う。

b. ④、⑤の原因と対策

**【発生経緯】**

- ✓ 設計者は、既認可で用いられている除熱面積を根拠として除熱評価を行っていたが、既認可の除熱面積の意図する内容を構造図等により確認することなく、評価を進めてしまったことにより、誤った計算となってしまった。

**【原因】**

- ✓ 設計者は、伝熱面積を設定する際に既許可の数値を用いたが、既認可に記載されている数値がどのような意図で設定されているのか、その数値が当該計算に使用するのに適切かについて、構造図を用いて確認しなかった（原因Ⅲ）。このため、適切な数値でないことに気づくことが出来なかった。また、他の設計者及び責任者は、チェック箇所の確認を行ったが、正しい内容であるか否かをエビデンス等により確認しなかった（原因Ⅱ）。

**【対策】**

- ✓ 設工認申請書の数値をエビデンスとしている場合に、構造図にさかのぼり設工認申請書の意図と、評価の意図が合致しているか再確認する。

c. ⑥～⑨、⑪～⑭の原因と対策

**【発生経緯】**

- ✓ 事業変更許可及び整理資料を作成する際、資料の作成担当が資料間で異なり、整合チェックが不十分となって転記の際にミスが生じた。
- ✓ さらに、誤記⑥～⑨、⑭については、計算シートの並び順と補足説明資料での記載順が異なったことを起因として、転記の際にミスが生じた。

#### 【原因】

- ✓ 事業変更許可及び整理資料を作成する際、設計者は、計算シートと整理資料の表の並びを確認していなかった（原因Ⅳ）。また、他の設計者及び責任者は、チェック箇所の確認を行ったが、チェック箇所以外については正しい内容であるか否かをエビデンス等により確認しなかった。（原因Ⅱ）。

#### 【対策】

- ✓ 事業変更許可及び整理資料間において転記ミスがないか、確認を行う。また、事業変更許可及び整理資料を作成する際、全体の横通しを管理し、誤記を防止できる体制を整えて資料作成を進める。

### (3) 事業変更許可への影響

#### a. 事業変更許可本文への影響

上記の①～⑭のいずれの誤記についても、以下の理由から事業変更許可本文に影響はないことを確認した。

- ✓ 本文では計算及び対策の方針を示していること。（①，④，⑤）
- ✓ 本文ではコイル通水後の温度の低下傾向を有効性評価の項目として記載しており、通水開始温度、平衡温度は記載していないこと。（①，②，③，④，⑤）
- ✓ 本文における水素濃度は対象建屋のうち最も水素濃度が高くなる建屋を選定しており、水素濃度推移評価の誤りは建屋の選定に影響しないこと。（⑩）
- ✓ 整理資料への転記ミスであること（⑥～⑨，⑪～⑭）

#### b. 事業変更許可 添付書類への影響

誤記①～⑤，⑩については、添付書類に修正が必要である。修正箇所を正誤表のとして添付書類 1 に示す。

### 3. 他条文の調査について

#### 3.1 調査の範囲及び方法

上記の誤記は、重大事故等の有効性評価の中で発見されたが、誤記の原因を踏まえると、重大事故等の有効性評価に限らず、設計基準及び重大事故に関連する全条文を対象として調査を行うことが適切である。

このため、上記の誤記の原因を踏まえ、事業指定基準規則全条文に係る事業変更許可本文及び添付書類を対象として、調査を実施した。

調査は、数値を担保するマスターファイル（計算シート）による計算及びその他の表計算等による計算は設計管理に基づきチェックを行っていることを再度確認していることから、以下の方法で実施した。

- ✓ マスターファイル（計算シート）を流用する形式で複数の評価を行っているかいないかを確認する。流用している場合は、本事象と同様なマスターファイル（計算シート）に問題が生じていないか、計算シートの全数チェックを行う。流用して作成した個別の計算シート自体にも、間違いがないか再確認する。流用する形式でない場合についても、計算シートの再チェックを行う。
- ✓ 設工認申請書の数値をエビデンスとしている場合に、構造図にさかのぼり、設工認申請書の意図と、評価の意図が合致しているか再確認する。
- ✓ 事業変更許可及び整理資料間において転記ミスがないか、確認を行う。

### 3.2 結果

事業指定基準規則全条文を対象として、3.1 に示す方法により事業変更許可申請書の本文及び添付書類の調査を行い、本文及び添付書類に誤記はないことを確認した。

第2表 「冷却機能の喪失による蒸発乾固」に関する誤記の発生原因の分析

事象	事象発生理由①	①の発生理由 (②)	②の発生理由 (③)	原因
<b>【事象1】</b> 事業変更許可の誤記の発生 (No. ①②③) (マスターファイル(計算シート)の流用に伴うチェック箇所の不足)	担当Aは、計算シートを作成したが、適用する評価式が適正ではなかった。	担当Aは、同じような評価で作成し既にチェックされた計算シートを流用し、パラメータのみ変更し計算シートを作成した。	⇒	担当Aは、同じような評価であるため既にチェックされた別の計算シートを流用し計算シートを作成したが、流用先でもその評価が適切であるか確認しなかった。(原因I)
		担当Bは、計算シートの評価式の適用性までチェックすべきところを、チェックしていなかったためミスに気づけなかった。	担当Bは、既にチェックされた計算シートを流用し作成されているので、チェック箇所を絞ったチェックを行っていた。	担当A及び責任者は、チェック箇所の確認を行ったが、チェック箇所以外については正しい内容であるか否かをエビデンス等により確認しなかった。(原因II)
<b>【事象2】</b> 事業変更許可の誤記の発生 (No. ④⑤) (インプットの妥当性を確認するために十分なエビデンスの添付漏れ)	担当Aは、計算に適用できないパラメータを使用して計算を行った。	担当Aは、計算に使用するパラメータである既認可に記載されている伝熱面積について、その数値がどのような意図で設定されているのかしっかり理解しないまま用いたため、誤った計算をしてしまった。	⇒	担当Aは、既認可に記載されている数値がどのような意図で設定されているのか確認し、その数値が当該計算に使用するのに適切か確認しなかった。(原因III)
		担当Bは、使用するパラメータの妥当性までチェックすべきところをしていなかったため、ミスに気づけなかった。	担当Bは、既認可に記載されている数値がどのような意図で設定されているのか確認せずチェックを行っていた。	原因II

事象	事象発生理由①	①の発生理由 (②)	②の発生理由 (③)	原因
【事象3】 整理資料の誤記の発生 (No. ⑥⑦⑧⑨) (全体横並びを確認する 十分なチェックの未実施)	担当Aは、計算結果を 整理資料に転記する際 にミスをした。	担当Aは、事業変更許可の情 報のもととなる計算シート から整理資料の表へ数値を 転記する際に張り付け箇所 を間違えた。	担当Aは、事業変更許可の 表の並びと計算シートの 表の並びが違うことに気 づかなかった。	担当Aは、計算シートと整理資 料の表の並びを確認していな かった。(原因Ⅳ)
		担当Bは、数値とそれに紐づ く対象機器をセットでチェ ックしていなかったためミ スに気づけなかった。	担当Bは、数字の転記元の 計算シートと整理資料の 表の並びが同じだと思い 数字のチェックのみを行 っていた。	原因Ⅱ
	転記元である事業変更 許可の情報が間違っ ていた。⇒【事象1】へ	—	—	—



第3表 「放射線分解により発生する水素による爆発」に関する誤記の発生原因の分析

事象	事象発生理由①	①の発生理由 (②)	②の発生理由 (③)	原因
【事象4】 事業変更許可の誤記（水素濃度推移のグラフ間違い）の発生（No. ⑩） （マスターファイル（計算シート）の流用に伴うチェック箇所の不足）	担当Aは、計算を行う際にエクセルシートに誤ったパラメータを入力した。	担当Aは、エクセル関数「vlookup」を用いて正しい値が引用されていた元計算シートに対し、手入力で修正を行ったことで他の計算への汎用性を失った。	担当Aは、水素濃度の感度を把握するために、特定の貯槽の水素濃度を計算するためのパラメータに固定した。	担当Aは、チェック済みのシートに手を入れた場合、修正点は再度チェックすべきところ、チェックを行うためのエビデンス準備をしなかった（原因V）
		担当Bは、計算シートの評価式の適用性までチェックすべきところを、チェックしていなかったためミスに気づけなかった。	担当Bは、既にチェックされた計算シートを流用し作成されているので、チェック箇所を絞ったチェックを行っていた。	原因II
【事象5】 整理資料の誤記の発生（No. ⑪⑫⑬⑭） （全体横並びを確認する十分なチェックの未実施）	担当Aは、事業変更許可の情報を、事業変更許可から整理資料に転記する際にミスをした。	担当Aは、事業変更許可の情報のもととなる計算シートから整理資料の表へ数値を転記する際に張り付け箇所を間違えた。	担当Aは、事業変更許可の表の並びと計算シートの表の並びが違うことに気づけなかった。	原因IV
		担当Aは、事業変更許可とは異なる数値の丸め方を用いていた。	担当Bは、桁数、丸め方を含めたチェックを行わなかったため、丸めによる差異には気づけなかった。	原因II
		担当Bは、数値とそれに紐づく対象機器をセットでチェックしていなかったためミスに気づけなかった。	担当Bは、数字の転記元の計算シートと整理資料の表の並びが同じだと思い数字のチェックのみを行っていた。	原因II

4. 今後の対応

- (1) 誤記の再発防止のため、弊社内における事例教育を行う（2023年3月末まで）。
- (2) 今回の誤記については、事業変更許可申請時（時期未定）に修正する。

以上

## 添付資料 1

事業指定（変更許可）の誤記発生個所の前後表

### 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容 (令和2年7月29日許可)		修正後		備考
				<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>
<p>各種燃料加工施設 対策班</p> <p>小計 95</p> <p>合計 184</p>		<p>各種燃料加工施設 対策班</p> <p>小計 95</p> <p>合計 180</p>		
				<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>
<p>各種燃料加工施設 対策班</p> <p>小計 16</p> <p>合計 184</p>		<p>各種燃料加工施設 対策班</p> <p>小計 16</p> <p>合計 180</p>		

第5.1.4-9図 重大事故等への対処に係る要員配置 (地震を要因として発生する機能喪失の重畳時 24時間から48時間) (4/20)

第5.1.4-9図 重大事故等への対処に係る要員配置 (地震を要因として発生する機能喪失の重畳時 24時間から48時間) (4/20)

### 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）		修正後		備考
				<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>
<p>第5.1.4-9図 重大事故等への対処に係る要員配置（地震を要因として発生する機能喪失の重畳時 48時間以降）（6/20）</p>		<p>第5.1.4-9図 重大事故等への対処に係る要員配置（地震を要因として発生する機能喪失の重畳時 48時間以降）（6/20）</p>		

## 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<p>機を用いた代替セル排気系による対応に係る有効性評価においては、解析コードを用いず、簡便な計算に基づき評価する。</p> <p>(4) 有効性評価の評価単位 「7.2.1.2.1(4) 有効性評価の評価単位」に示したとおりである。</p> <p>(5) 機能喪失の条件 7.2.2.2 蒸発乾固の拡大防止対策の有効性評価 7.2.2.2.1 有効性評価 りである。</p> <p>(6) 事故の条件及び機器の条件 「高レベル廃液等の核種組成、濃度、崩壊熱密度」及び「高レベル廃液等の液量」設定の考え方は、「7.2.1.2.1(6) 事故の条件及び機器の条件」に記載したとおりである。 高レベル廃液等の温度及び液位の推移の評価条件を第7.2-3表～第7.2-7表に示す。 蒸発乾固の拡大防止対策に使用する機器を第7.2-8表に示す。また、主要な機器の条件を以下に示す。 a. 可搬型中型移送ポンプ 可搬型中型移送ポンプは、1台当たり約240m<sup>3</sup>/hの容量を有し、貯槽等への注水、冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水を実施する場合には、前処理建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台、分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台を兼用し、高レベル廃液ガラス固化建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台を使用し、貯槽等への注水、冷却コイル等への通水及び凝</p>	<p>機を用いた代替セル排気系による対応に係る有効性評価においては、解析コードを用いず、簡便な計算に基づき評価する。</p> <p>(4) 有効性評価の評価単位 「7.2.1.2.1(4) 有効性評価の評価単位」に示したとおりである。</p> <p>(5) 機能喪失の条件 「7.2.1.2.1(5) 機能喪失の条件」に示したとおりである。</p> <p>(6) 事故の条件及び機器の条件 「高レベル廃液等の核種組成、濃度、崩壊熱密度」及び「高レベル廃液等の液量」設定の考え方は、「7.2.1.2.1(6) 事故の条件及び機器の条件」に記載したとおりである。 高レベル廃液等の温度及び液位の推移の評価条件を第7.2-3表～第7.2-7表に示す。 蒸発乾固の拡大防止対策に使用する機器を第7.2-8表に示す。また、主要な機器の条件を以下に示す。 a. 可搬型中型移送ポンプ 可搬型中型移送ポンプは、1台当たり約240m<sup>3</sup>/hの容量を有し、貯槽等への注水、冷却コイル等への通水及び凝縮器への通水を実施する場合には、前処理建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台、分離建屋、精製建屋及びウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台を兼用し、高レベル廃液ガラス固化建屋における蒸発乾固の拡大防止対策の実施に対して1台を使用し、貯槽等への注水、冷却コイル等への通水及び凝</p>	<p>変更なし。</p>

## 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考																																																												
<p>縮器への通水を実施するのに必要な水を供給できる設計としていることから、各貯槽等への水の供給流量は、内包する高レベル廃液等の崩壊熱を踏まえて調整し、以下に示す設定値以上で通水する。</p> <p>また、「7.2.1 蒸発乾固の発生防止対策」に示す内部ループへの通水の実施に必要な水の供給は、同じ可搬型中型移送ポンプを用いて実施する。</p> <p>(a) 蒸発速度の3倍の流量を想定した場合の貯槽等への注水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>6.1 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table> <p>(b) 冷却コイル等への通水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>5.2 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>51 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table> <p>(c) 凝縮器への通水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>10 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>30 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>45 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table>	前処理建屋	約 $3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $6.1 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}$	前処理建屋	約 $2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $5.2 \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $51 \text{ m}^3 / \text{ h}$	前処理建屋	約 $10 \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $30 \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $45 \text{ m}^3 / \text{ h}$	<p>縮器への通水を実施するのに必要な水を供給できる設計としていることから、各貯槽等への水の供給流量は、内包する高レベル廃液等の崩壊熱を踏まえて調整し、以下に示す設定値以上で通水する。</p> <p>また、「7.2.1 蒸発乾固の発生防止対策」に示す内部ループへの通水の実施に必要な水の供給は、同じ可搬型中型移送ポンプを用いて実施する。</p> <p>(a) 蒸発速度の3倍の流量を想定した場合の貯槽等への注水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>7.5 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table> <p>(b) 冷却コイル等への通水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>5.6 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>63 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table> <p>(c) 凝縮器への通水流量</p> <table border="0"> <tr> <td>前処理建屋</td> <td>約<math>10 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>分離建屋</td> <td>約<math>30 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>精製建屋</td> <td>約<math>6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋</td> <td>約<math>6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス固化建屋</td> <td>約<math>45 \text{ m}^3 / \text{ h}</math></td> </tr> </table>	前処理建屋	約 $3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $7.5 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}$	前処理建屋	約 $2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $5.6 \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $63 \text{ m}^3 / \text{ h}$	前処理建屋	約 $10 \text{ m}^3 / \text{ h}$	分離建屋	約 $30 \text{ m}^3 / \text{ h}$	精製建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$	高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $45 \text{ m}^3 / \text{ h}$	<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水流量の変更</p> <p>高レベル廃液濃縮缶の冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う通水流量の変更</p> <p>第1, 2高レベル濃縮廃液貯槽及び高レベル廃液共用貯槽の冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う通水流量の変更</p>
前処理建屋	約 $3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $6.1 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
前処理建屋	約 $2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $5.2 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $51 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
前処理建屋	約 $10 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $30 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $45 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
前処理建屋	約 $3.3 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $7.5 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $4.0 \times 10^{-1} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $9.3 \times 10^{-2} \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $5.5 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
前処理建屋	約 $2.3 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $5.6 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $2.8 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $1.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $63 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
前処理建屋	約 $10 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
分離建屋	約 $30 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
精製建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	約 $6.0 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													
高レベル廃液ガラス固化建屋	約 $45 \text{ m}^3 / \text{ h}$																																																													

## 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<p>d. セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応</p> <p>冷却コイル等への通水による事態の収束までに大気中へ放出される放射性物質の放出量が、セシウム-137換算で100TBqを十分下回るものであって、かつ、実行可能な限り低いこと。</p> <p>7.2.2.2.2 有効性評価の結果</p> <p>(1) 有効性評価の結果</p> <p>a. 貯槽等への注水</p> <p>沸騰に至るまでの時間が最も短い貯槽等を有する精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる貯槽等への注水に係る準備作業は、安全冷却水系の冷却機能の喪失から63人にて9時間で作業を完了するため、安全冷却水系の冷却機能の喪失から沸騰に至るまでの時間である11時間以内に注水準備の完了が可能である。</p> <p>高レベル廃液等が沸騰に至り液位が低下するが、液位を監視しつつ貯槽等への注水を高レベル廃液等の蒸発速度を上回る注水流量で適時実施することにより、高レベル廃液等の液量は貯槽等の事故発生直前の初期液量の70%を下回ることなく、液位を一定範囲に維持できる。</p> <p>また、ルテニウムを含む高レベル濃縮廃液を内包する貯槽等において、高レベル濃縮廃液の温度を120℃未満に維持でき、揮発性のルテニウムが大量に生成することはない。</p> <p>以上の有効性評価結果を第7.2-9表～第7.2-23表に、対策実施時のパラメータの推移を第7.2-22図～第7.2-26図に示す。</p> <p>b. 冷却コイル等への通水</p> <p>蒸発乾固の発生防止対策が機能しなかった場合に実施する冷却コイル等への通水による貯槽等に内包する高レベル廃液等の冷却は、健全</p>	<p>d. セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応</p> <p>冷却コイル等への通水による事態の収束までに大気中へ放出される放射性物質の放出量が、セシウム-137換算で100TBqを十分下回るものであって、かつ、実行可能な限り低いこと。</p> <p>7.2.2.2.2 有効性評価の結果</p> <p>(1) 有効性評価の結果</p> <p>a. 貯槽等への注水</p> <p>沸騰に至るまでの時間が最も短い貯槽等を有する精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる貯槽等への注水に係る準備作業は、安全冷却水系の冷却機能の喪失から63人にて9時間で作業を完了するため、安全冷却水系の冷却機能の喪失から沸騰に至るまでの時間である11時間以内に注水準備の完了が可能である。</p> <p>高レベル廃液等が沸騰に至り液位が低下するが、液位を監視しつつ貯槽等への注水を高レベル廃液等の蒸発速度を上回る注水流量で適時実施することにより、高レベル廃液等の液量は貯槽等の事故発生直前の初期液量の70%を下回ることなく、液位を一定範囲に維持できる。</p> <p>また、ルテニウムを含む高レベル濃縮廃液を内包する貯槽等において、高レベル濃縮廃液の温度を120℃未満に維持でき、揮発性のルテニウムが大量に生成することはない。</p> <p>以上の有効性評価結果を第7.2-9表～第7.2-23表に、対策実施時のパラメータの推移を第7.2-22図～第7.2-26図に示す。</p> <p>b. 冷却コイル等への通水</p> <p>蒸発乾固の発生防止対策が機能しなかった場合に実施する冷却コイル等への通水による貯槽等に内包する高レベル廃液等の冷却は、健全</p>	<p>変更なし。</p>



## 再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<p>な冷却コイル配管・弁又は冷却ジャケット配管・弁が1本あれば可能であり，高レベル廃液等が沸騰に至ってから冷却コイル等への通水が実施されるまでの時間が最も長い精製建屋内部ループ1に属する貯槽等に対して冷却コイル等への通水を実施する場合，精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる冷却コイル等への通水に係る準備作業は，安全冷却水系の冷却機能の喪失から59人にて30時間40分で作業を完了できる。</p> <p>冷却コイル等への通水実施後は，高レベル廃液等の温度が沸点から低下傾向を示し，高レベル廃液等の平衡温度が最も高い<span style="border: 1px solid black;">プルトニウム濃縮液受槽</span>において約75℃で平衡に至る。</p> <p>同様に，上記以外の機器グループである精製建屋内部ループ2に属する貯槽等に対して冷却コイル等への通水を実施する場合，精製建屋で安全冷却水系の冷却機能の喪失から61人にて37時間30分で作業を完了し実施できる。冷却コイル等への通水実施後の高レベル廃液等の平衡温度は，最も温度が高いプルトニウム溶液受槽において約70℃である。</p> <p>以上の有効性評価結果を第7.2-9表～第7.2-23表に，対策実施時のパラメータの推移を第7.2-22図～第7.2-26図に示す。</p> <p>c. 凝縮器への通水</p> <p>沸騰に至るまでの時間が最も短い貯槽等を有する精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる凝縮器への通水は，安全冷却水系の冷却機能の喪失から55人にて8時間30分で実施できるため，安全冷却水系の冷却機能の喪失から沸騰に至るまでの時間である11時間以内に凝縮器への通水が可能である。</p> <p>高レベル廃液等の沸騰から事態の収束までの凝縮水の発生量は，凝</p>	<p>な冷却コイル配管・弁又は冷却ジャケット配管・弁が1本あれば可能であり，高レベル廃液等が沸騰に至ってから冷却コイル等への通水が実施されるまでの時間が最も長い精製建屋内部ループ1に属する貯槽等に対して冷却コイル等への通水を実施する場合，精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる冷却コイル等への通水に係る準備作業は，安全冷却水系の冷却機能の喪失から59人にて30時間40分で作業を完了できる。</p> <p>冷却コイル等への通水実施後は，高レベル廃液等の温度が沸点から低下傾向を示し，高レベル廃液等の平衡温度が最も高い<span style="border: 1px solid black;">プルトニウム濃縮液計量槽又はプルトニウム濃縮液中間貯槽</span>において約74℃で平衡に至る。</p> <p>同様に，上記以外の機器グループである精製建屋内部ループ2に属する貯槽等に対して冷却コイル等への通水を実施する場合，精製建屋で安全冷却水系の冷却機能の喪失から61人にて37時間30分で作業を完了し実施できる。冷却コイル等への通水実施後の高レベル廃液等の平衡温度は，最も温度が高いプルトニウム溶液受槽において約70℃である。</p> <p>以上の有効性評価結果を第7.2-9表～第7.2-23表に，対策実施時のパラメータの推移を第7.2-22図～第7.2-26図に示す。</p> <p>c. 凝縮器への通水</p> <p>沸騰に至るまでの時間が最も短い貯槽等を有する精製建屋における可搬型中型移送ポンプによる凝縮器への通水は，安全冷却水系の冷却機能の喪失から55人にて8時間30分で実施できるため，安全冷却水系の冷却機能の喪失から沸騰に至るまでの時間である11時間以内に凝縮器への通水が可能である。</p>	<p>冷却コイル等通水時の評価式修正に伴う最も平衡温度の高い貯槽及び平衡温度の変更</p>

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）		修正後		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>第7.2-12表 分離建屋における蒸発乾固への各対策に係る時間</p>	<p>発生防止対策 (内部ループへの通水による冷却)</p> <table border="1"> <tr> <th>機器グループ</th> <th>時間余裕(h) ※1</th> <th>内部ループへの通水準備完了時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕</th> <th>貯槽等への注水開始時間 ※3</th> <th>冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2</th> <th>冷却コイル等への通水開始時間 ※2</th> <th>セル導出準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動開始時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水準備完了時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水開始時間 ※2</th> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ1</td> <td>15</td> <td>12時間25分</td> <td>13時間</td> <td>2時間</td> <td>62時間</td> <td>25時間25分</td> <td>25時間55分</td> <td>2時間30分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>7時間10分</td> <td>10時間</td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ2</td> <td>720</td> <td>39時間30分</td> <td>40時間10分</td> <td>679時間55分</td> <td>2151時間</td> <td>47時間</td> <td>47時間40分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ3</td> <td>330</td> <td>30時間</td> <td>30時間</td> <td>289時間50分</td> <td>928時間</td> <td></td> <td></td> <td>2時間45分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>49時間10分</td> <td>51時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>523時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>525時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>846時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>843時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>849時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>905時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水開始時間 ※3	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2	分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	62時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間	分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分						分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間		180			134時間15分	523時間									180			134時間15分	525時間									250			204時間15分	846時間									250			204時間15分	843時間									250			204時間15分	849時間									250			204時間15分	850時間									310			264時間15分	905時間									310			264時間15分	906時間									310			264時間15分	906時間									250			204時間15分	850時間									250			204時間15分	850時間								<p>発生防止対策 (貯槽等への注水、冷却コイル等への通水による冷却、セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応)</p> <table border="1"> <tr> <th>機器グループ</th> <th>時間余裕(h) ※1</th> <th>内部ループへの通水準備完了時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕</th> <th>貯槽等への注水準備完了時間 ※2</th> <th>冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2</th> <th>冷却コイル等への通水開始時間 ※2</th> <th>セル導出準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動開始時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水準備完了時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水開始時間 ※2</th> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ1</td> <td>15</td> <td>12時間25分</td> <td>13時間</td> <td>2時間</td> <td>44時間</td> <td>25時間25分</td> <td>25時間55分</td> <td>2時間30分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>7時間10分</td> <td>10時間</td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ2</td> <td>720</td> <td>39時間30分</td> <td>40時間10分</td> <td>679時間55分</td> <td>2151時間</td> <td>47時間</td> <td>47時間40分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ3</td> <td>330</td> <td>30時間</td> <td>30時間</td> <td>289時間50分</td> <td>928時間</td> <td></td> <td></td> <td>2時間45分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>49時間10分</td> <td>51時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>523時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>525時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>846時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>843時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>849時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>905時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2	分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	44時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間	分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分						分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間		180			134時間15分	523時間									180			134時間15分	525時間									250			204時間15分	846時間									250			204時間15分	843時間									250			204時間15分	849時間									250			204時間15分	850時間									310			264時間15分	905時間									310			264時間15分	906時間									310			264時間15分	906時間									250			204時間15分	850時間									250			204時間15分	850時間								<p>※1 冷却機能の喪失から高レベル廃液等が沸騰に至るまでの時間                  ※2 冷却機能の喪失からの時間                  ※3 冷却機能の喪失から高レベル廃液等が初期液量の70%になるまでの時間</p>	<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>
	機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水開始時間 ※3	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	62時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	180			134時間15分	523時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	180			134時間15分	525時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	846時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	843時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	849時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	905時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	44時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	180			134時間15分	523時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	180			134時間15分	525時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	846時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	843時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	849時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	905時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>第7.2-12表 分離建屋における蒸発乾固への各対策に係る時間</p>	<p>発生防止対策 (内部ループへの通水による冷却)</p> <table border="1"> <tr> <th>機器グループ</th> <th>時間余裕(h) ※1</th> <th>内部ループへの通水準備完了時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始時間 ※2</th> <th>内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕</th> <th>貯槽等への注水準備完了時間 ※2</th> <th>冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2</th> <th>冷却コイル等への通水開始時間 ※2</th> <th>セル導出準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動準備完了時間 ※2</th> <th>可搬型排風機起動開始時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水準備完了時間 ※2</th> <th>凝縮器への通水開始時間 ※2</th> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ1</td> <td>15</td> <td>12時間25分</td> <td>13時間</td> <td>2時間</td> <td>44時間</td> <td>25時間25分</td> <td>25時間55分</td> <td>2時間30分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>7時間10分</td> <td>10時間</td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ2</td> <td>720</td> <td>39時間30分</td> <td>40時間10分</td> <td>679時間55分</td> <td>2151時間</td> <td>47時間</td> <td>47時間40分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分離建屋内部ループ3</td> <td>330</td> <td>30時間</td> <td>30時間</td> <td>289時間50分</td> <td>928時間</td> <td></td> <td></td> <td>2時間45分</td> <td>4時間50分</td> <td>6時間10分</td> <td>49時間10分</td> <td>51時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>523時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>180</td> <td></td> <td></td> <td>134時間15分</td> <td>525時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>846時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>843時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>849時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>905時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>310</td> <td></td> <td></td> <td>264時間15分</td> <td>906時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>250</td> <td></td> <td></td> <td>204時間15分</td> <td>850時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2	分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	44時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間	分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分						分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間		180			134時間15分	523時間									180			134時間15分	525時間									250			204時間15分	846時間									250			204時間15分	843時間									250			204時間15分	849時間									250			204時間15分	850時間									310			264時間15分	905時間									310			264時間15分	906時間									310			264時間15分	906時間									250			204時間15分	850時間									250			204時間15分	850時間								<p>※1 冷却機能の喪失から高レベル廃液等が沸騰に至るまでの時間                  ※2 冷却機能の喪失からの時間                  ※3 冷却機能の喪失から高レベル廃液等が初期液量の70%になるまでの時間</p>																																																																																																																																																																																																					
機器グループ	時間余裕(h) ※1	内部ループへの通水準備完了時間 ※2	内部ループへの通水開始時間 ※2	内部ループへの通水開始から沸騰に至るまでの時間余裕	貯槽等への注水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水準備完了時間 ※2	冷却コイル等への通水開始時間 ※2	セル導出準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動準備完了時間 ※2	可搬型排風機起動開始時間 ※2	凝縮器への通水準備完了時間 ※2	凝縮器への通水開始時間 ※2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分離建屋内部ループ1	15	12時間25分	13時間	2時間	44時間	25時間25分	25時間55分	2時間30分	4時間50分	6時間10分	7時間10分	10時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
分離建屋内部ループ2	720	39時間30分	40時間10分	679時間55分	2151時間	47時間	47時間40分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
分離建屋内部ループ3	330	30時間	30時間	289時間50分	928時間			2時間45分	4時間50分	6時間10分	49時間10分	51時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	180			134時間15分	523時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	180			134時間15分	525時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	846時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	843時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	849時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	905時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	310			264時間15分	906時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	250			204時間15分	850時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容 (令和2年7月29日許可)			修正後			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
第7.2-14表 分離建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果			第7.2-14表 分離建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果			①高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正 ②高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う貯槽等への注水の供給流量の変更 ③高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う冷却コイル等への通水開始時温度の変更 ④高レベル廃液濃縮缶の冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う平衡温度の変更 ⑤高レベル廃液濃縮缶の冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う必要流量の変更 ⑥冷却コイル等通水時の評価式修正に伴う平衡温度の変更																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th colspan="2">蒸発乾固対象貯槽等</th> <th colspan="2">蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">供給流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">貯槽等への注水の実施</th> <th colspan="3">蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)</th> <th colspan="3">蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="3">供給流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="3">貯槽等への注水の実施</th> <th colspan="3">冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]</th> <th colspan="3">平衡温度 [°C]</th> <th colspan="3">必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">分離建屋 内部グループ1</td> <td>高レベル廃液濃縮缶</td> <td>約7.9×10<sup>-2</sup></td> <td>①</td> <td>約7.9×10<sup>-2</sup></td> <td>約2.4×10<sup>-1</sup></td> <td>②</td> <td>約2.4×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>※2</td> <td>③</td> <td>約105</td> <td>④</td> <td>約83</td> <td>⑤</td> <td>約2.7</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液供給槽</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約35</td> <td>約57</td> <td>約8.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第6一時貯留処理槽</td> <td>約5.6×10<sup>-4</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.6×10<sup>-4</sup></td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>約66</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">分離建屋 内部グループ2</td> <td>溶解液中間貯槽</td> <td>約1.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.9×10<sup>-2</sup></td> <td>約5.6×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.6×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>約56</td> <td>約3.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>溶解液供給槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>⑥</td> <td>約65</td> <td>約9.3×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液受槽</td> <td>約7.0×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約7.0×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液中間貯槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液供給槽A</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約5.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液供給槽B</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約5.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">分離建屋 内部グループ3</td> <td>第1一時貯留処理槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約4.2×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約69</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第8一時貯留処理槽</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>約5.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約77</td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第7一時貯留処理槽</td> <td>約1.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約71</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第3一時貯留処理槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>第4一時貯留処理槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 高レベル廃液等が沸騰するもの貯槽等への注水開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※3 沸騰開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※4 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>	機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]			蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		供給流量 [m <sup>3</sup> /h]		貯槽等への注水の実施		蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)			蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]			供給流量 [m <sup>3</sup> /h]			貯槽等への注水の実施			冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]			平衡温度 [°C]			必要流量 [m <sup>3</sup> /h]			蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	分離建屋 内部グループ1	高レベル廃液濃縮缶	約7.9×10 <sup>-2</sup>	①	約7.9×10 <sup>-2</sup>	約2.4×10 <sup>-1</sup>	②	約2.4×10 <sup>-1</sup>	※2	※2	③	約105	④	約83	⑤	約2.7	高レベル廃液供給槽	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約35	約57	約8.1×10 <sup>-2</sup>	第6一時貯留処理槽	約5.6×10 <sup>-4</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-4</sup>	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	約66	約1.2×10 <sup>-2</sup>	分離建屋 内部グループ2	溶解液中間貯槽	約1.9×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.9×10 <sup>-2</sup>	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	約56	約3.9×10 <sup>-1</sup>	溶解液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	⑥	約65	約9.3×10 <sup>-2</sup>	抽出廃液受槽	約7.0×10 <sup>-3</sup>	※3	約7.0×10 <sup>-3</sup>	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約1.5×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液中間貯槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液供給槽A	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液供給槽B	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>	分離建屋 内部グループ3	第1一時貯留処理槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約69	約2.9×10 <sup>-2</sup>	第8一時貯留処理槽	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約77	約3.5×10 <sup>-2</sup>	第7一時貯留処理槽	約1.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.3×10 <sup>-3</sup>	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約71	約2.8×10 <sup>-2</sup>	第3一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>	第4一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th colspan="2">蒸発乾固対象貯槽等</th> <th colspan="2">蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">供給流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> <th colspan="2">貯槽等への注水の実施</th> <th colspan="3">蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)</th> <th colspan="3">冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]</th> <th colspan="3">平衡温度 [°C]</th> <th colspan="3">必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> <th>蒸発速度</th> <th>伝熱面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">分離建屋 内部グループ1</td> <td>高レベル廃液濃縮缶</td> <td>約1.3×10<sup>-1</sup></td> <td>①</td> <td>約1.3×10<sup>-1</sup></td> <td>約3.9×10<sup>-1</sup></td> <td>②</td> <td>約3.9×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>※2</td> <td>③</td> <td>約106</td> <td>④</td> <td>約85</td> <td>⑤</td> <td>約3.0</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液供給槽</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約35</td> <td>約57</td> <td>約8.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">分離建屋 内部グループ2</td> <td>第6一時貯留処理槽</td> <td>約5.6×10<sup>-4</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.6×10<sup>-4</sup></td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>約66</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>溶解液中間貯槽</td> <td>約1.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.9×10<sup>-2</sup></td> <td>約5.6×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.6×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>約56</td> <td>約3.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">分離建屋 内部グループ3</td> <td>溶解液供給槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>⑥</td> <td>約63</td> <td>約9.3×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液受槽</td> <td>約7.0×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約7.0×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液中間貯槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液供給槽A</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約5.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>抽出廃液供給槽B</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約8.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約5.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>第1一時貯留処理槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約4.2×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約68</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第8一時貯留処理槽</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.7×10<sup>-3</sup></td> <td>約5.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約5.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約74</td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第7一時貯留処理槽</td> <td>約1.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約1.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約3.9×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約50</td> <td>⑥</td> <td>約69</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第3一時貯留処理槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>第4一時貯留処理槽</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約9.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>※3</td> <td>約53</td> <td>約57</td> <td>約2.0×10<sup>-1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 高レベル廃液等が沸騰するもの貯槽等への注水開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※3 沸騰開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※4 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>	機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		供給流量 [m <sup>3</sup> /h]		貯槽等への注水の実施		蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)			冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]			平衡温度 [°C]			必要流量 [m <sup>3</sup> /h]			蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	分離建屋 内部グループ1	高レベル廃液濃縮缶	約1.3×10 <sup>-1</sup>	①	約1.3×10 <sup>-1</sup>	約3.9×10 <sup>-1</sup>	②	約3.9×10 <sup>-1</sup>	※2	※2	③	約106	④	約85	⑤	約3.0	高レベル廃液供給槽	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約35	約57	約8.1×10 <sup>-2</sup>	分離建屋 内部グループ2	第6一時貯留処理槽	約5.6×10 <sup>-4</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-4</sup>	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	約66	約1.2×10 <sup>-2</sup>	溶解液中間貯槽	約1.9×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.9×10 <sup>-2</sup>	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	約56	約3.9×10 <sup>-1</sup>	分離建屋 内部グループ3	溶解液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	⑥	約63	約9.3×10 <sup>-2</sup>	抽出廃液受槽	約7.0×10 <sup>-3</sup>	※3	約7.0×10 <sup>-3</sup>	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約1.5×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液中間貯槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液供給槽A	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>	抽出廃液供給槽B	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>	第1一時貯留処理槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約68	約2.9×10 <sup>-2</sup>	第8一時貯留処理槽	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約74	約3.5×10 <sup>-2</sup>	第7一時貯留処理槽	約1.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.3×10 <sup>-3</sup>	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約69	約2.8×10 <sup>-2</sup>	第3一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>	第4一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57
機器グループ		蒸発乾固対象貯槽等		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		供給流量 [m <sup>3</sup> /h]		貯槽等への注水の実施		蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)			蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]			供給流量 [m <sup>3</sup> /h]			貯槽等への注水の実施			冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]			平衡温度 [°C]			必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
分離建屋 内部グループ1	高レベル廃液濃縮缶	約7.9×10 <sup>-2</sup>	①	約7.9×10 <sup>-2</sup>	約2.4×10 <sup>-1</sup>	②	約2.4×10 <sup>-1</sup>	※2	※2	③	約105	④	約83	⑤	約2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	高レベル廃液供給槽	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約35	約57	約8.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	第6一時貯留処理槽	約5.6×10 <sup>-4</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-4</sup>	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	約66	約1.2×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分離建屋 内部グループ2	溶解液中間貯槽	約1.9×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.9×10 <sup>-2</sup>	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	約56	約3.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	溶解液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	⑥	約65	約9.3×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	抽出廃液受槽	約7.0×10 <sup>-3</sup>	※3	約7.0×10 <sup>-3</sup>	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約1.5×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液中間貯槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液供給槽A	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液供給槽B	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分離建屋 内部グループ3	第1一時貯留処理槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約69	約2.9×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第8一時貯留処理槽	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約77	約3.5×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第7一時貯留処理槽	約1.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.3×10 <sup>-3</sup>	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約71	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第3一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	第4一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]		供給流量 [m <sup>3</sup> /h]		貯槽等への注水の実施		蒸発乾固対策 (貯槽等への注水)			冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]			平衡温度 [°C]			必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積	蒸発速度	伝熱面積																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
分離建屋 内部グループ1	高レベル廃液濃縮缶	約1.3×10 <sup>-1</sup>	①	約1.3×10 <sup>-1</sup>	約3.9×10 <sup>-1</sup>	②	約3.9×10 <sup>-1</sup>	※2	※2	③	約106	④	約85	⑤	約3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	高レベル廃液供給槽	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.2×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約35	約57	約8.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分離建屋 内部グループ2	第6一時貯留処理槽	約5.6×10 <sup>-4</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-4</sup>	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	約66	約1.2×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	溶解液中間貯槽	約1.9×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.9×10 <sup>-2</sup>	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	約5.6×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	約56	約3.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分離建屋 内部グループ3	溶解液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約57	⑥	約63	約9.3×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	抽出廃液受槽	約7.0×10 <sup>-3</sup>	※3	約7.0×10 <sup>-3</sup>	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.1×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約1.5×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液中間貯槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液供給槽A	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抽出廃液供給槽B	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約8.4×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約5.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	第1一時貯留処理槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	約4.2×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約68	約2.9×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第8一時貯留処理槽	約1.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.7×10 <sup>-3</sup>	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約5.1×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約74	約3.5×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
第7一時貯留処理槽	約1.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約1.3×10 <sup>-3</sup>	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	約3.9×10 <sup>-3</sup>	※3	※3	約50	⑥	約69	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
第3一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
第4一時貯留処理槽	約9.3×10 <sup>-3</sup>	※3	約9.3×10 <sup>-3</sup>	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	約2.8×10 <sup>-2</sup>	※3	※3	約53	約57	約2.0×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）		修正後		備考																																																																																																																																																																																																																			
<p>第7.2-17表 精製建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果</p>		<p>第7.2-17表 精製建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果</p>		<p>冷却コイル等通水時の評価式修正に伴う平衡温度の変更</p>																																																																																																																																																																																																																			
<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th rowspan="2">蒸発乾固対象貯槽等</th> <th colspan="2">拡大防止対策 (貯槽等への注水)</th> <th colspan="3">拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>供給流量 [m<sup>3</sup>/h] ※1</th> <th>貯槽等への注水の実 施</th> <th>冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]</th> <th>平衡温度 [℃] ※4</th> <th>必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">精製建屋 内部ルー プ1</td> <td>フルトニウム濃縮液受槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約75</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>リサイクル槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約73</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>希釈槽</td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約1.1×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約67</td> <td>約7.2×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>約6.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約73</td> <td>約4.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液計量槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約74</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液中間貯槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約74</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液受槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約58</td> <td>約70</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>油水分離槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>約70</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液供給槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約65</td> <td>約64</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約64</td> <td>約62</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">精製建屋 内部ルー プ2</td> <td>第2一時貯留処理槽</td> <td>約2.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約6.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約61</td> <td>約63</td> <td>約4.7×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第3一時貯留処理槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約65</td> <td>約64</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第1一時貯留処理槽</td> <td>約2.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約6.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約61</td> <td>約63</td> <td>約4.7×10<sup>-2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 貯槽等への注水が必要な貯槽                  ※3 沸騰開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※4 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>		機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等		拡大防止対策 (貯槽等への注水)		拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)			蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実 施	冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]	平衡温度 [℃] ※4	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]	精製建屋 内部ルー プ1	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約75	約2.9×10 <sup>-1</sup>	リサイクル槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>	希釈槽	約3.5×10 <sup>-2</sup>	約1.1×10 <sup>-1</sup>	※2	約112	約67	約7.2×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約2.1×10 <sup>-2</sup>	約6.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約4.4×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液計量槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液中間貯槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約58	約70	約2.8×10 <sup>-2</sup>	油水分離槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約57	約70	約2.8×10 <sup>-2</sup>	フルトニウム濃縮液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約64	約62	約9.4×10 <sup>-2</sup>	精製建屋 内部ルー プ2	第2一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>	第3一時貯留処理槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>	第1一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th rowspan="2">蒸発乾固対象貯槽等</th> <th colspan="2">拡大防止対策 (貯槽等への注水)</th> <th colspan="3">拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度 (飽和水) [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>供給流量 [m<sup>3</sup>/h] ※1</th> <th>貯槽等への注水の実 施</th> <th>冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]</th> <th>平衡温度 [℃] ※4</th> <th>必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">精製建屋 内部ルー プ1</td> <td>フルトニウム濃縮液受槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約73</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>リサイクル槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約73</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>希釈槽</td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約1.1×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約67</td> <td>約7.2×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>約2.1×10<sup>-2</sup></td> <td>約6.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約73</td> <td>約4.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液計量槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約74</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液中間貯槽</td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>約4.2×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約112</td> <td>約74</td> <td>約2.9×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液受槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約58</td> <td>約68</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>油水分離槽</td> <td>約1.4×10<sup>-3</sup></td> <td>約4.1×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約57</td> <td>約68</td> <td>約2.8×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液供給槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約65</td> <td>約64</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>フルトニウム濃縮液一時貯槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約64</td> <td>約62</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">精製建屋 内部ルー プ2</td> <td>第2一時貯留処理槽</td> <td>約2.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約6.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約61</td> <td>約63</td> <td>約4.7×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第3一時貯留処理槽</td> <td>約4.5×10<sup>-3</sup></td> <td>約1.4×10<sup>-2</sup></td> <td>※3</td> <td>約65</td> <td>約64</td> <td>約9.4×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>第1一時貯留処理槽</td> <td>約2.3×10<sup>-3</sup></td> <td>約6.7×10<sup>-3</sup></td> <td>※3</td> <td>約61</td> <td>約63</td> <td>約4.7×10<sup>-2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 貯槽等への注水が必要な貯槽                  ※3 沸騰開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※4 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>		機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等	拡大防止対策 (貯槽等への注水)		拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)			蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実 施	冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]	平衡温度 [℃] ※4	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]	精製建屋 内部ルー プ1	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>	リサイクル槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>	希釈槽	約3.5×10 <sup>-2</sup>	約1.1×10 <sup>-1</sup>	※2	約112	約67	約7.2×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約2.1×10 <sup>-2</sup>	約6.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約4.4×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液計量槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液中間貯槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約58	約68	約2.8×10 <sup>-2</sup>	油水分離槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約57	約68	約2.8×10 <sup>-2</sup>	フルトニウム濃縮液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約64	約62	約9.4×10 <sup>-2</sup>	精製建屋 内部ルー プ2	第2一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>	第3一時貯留処理槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>	第1一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63
機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等			拡大防止対策 (貯槽等への注水)		拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)																																																																																																																																																																																																																	
		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実 施	冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]	平衡温度 [℃] ※4	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																																																																																
精製建屋 内部ルー プ1	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約75	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	リサイクル槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	希釈槽	約3.5×10 <sup>-2</sup>	約1.1×10 <sup>-1</sup>	※2	約112	約67	約7.2×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約2.1×10 <sup>-2</sup>	約6.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約4.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液計量槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液中間貯槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約58	約70	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	油水分離槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約57	約70	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約64	約62	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
精製建屋 内部ルー プ2	第2一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	第3一時貯留処理槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	第1一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
機器グループ	蒸発乾固対象貯槽等	拡大防止対策 (貯槽等への注水)		拡大防止対策 (冷却コイル等への通水による冷却)																																																																																																																																																																																																																			
		蒸発速度 (飽和水) [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実 施	冷却コイル等への 通水開始時温度 [℃]	平衡温度 [℃] ※4	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																																																																																
精製建屋 内部ルー プ1	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	リサイクル槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	希釈槽	約3.5×10 <sup>-2</sup>	約1.1×10 <sup>-1</sup>	※2	約112	約67	約7.2×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約2.1×10 <sup>-2</sup>	約6.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約73	約4.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液計量槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液中間貯槽	約1.4×10 <sup>-2</sup>	約4.2×10 <sup>-2</sup>	※2	約112	約74	約2.9×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液受槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約58	約68	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	油水分離槽	約1.4×10 <sup>-3</sup>	約4.1×10 <sup>-3</sup>	※3	約57	約68	約2.8×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液供給槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	フルトニウム濃縮液一時貯槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約64	約62	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
精製建屋 内部ルー プ2	第2一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	第3一時貯留処理槽	約4.5×10 <sup>-3</sup>	約1.4×10 <sup>-2</sup>	※3	約65	約64	約9.4×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																
	第1一時貯留処理槽	約2.3×10 <sup>-3</sup>	約6.7×10 <sup>-3</sup>	※3	約61	約63	約4.7×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																																																																																																

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）		修正後		備考																																																																																																																																																							
<p>第7.2-23表 高レベル廃液ガラス固化建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果</p>		<p>第7.2-23表 高レベル廃液ガラス固化建屋における蒸発乾固への各対策に係る評価結果</p>		<p>冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う必要流量の変更 冷却コイル等通水時の伝熱面積修正に伴う平衡温度の変更</p>																																																																																																																																																							
<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th colspan="3">拡大防止対策（貯槽等への注水）</th> <th colspan="3">拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度（飽和水） [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>供給流量 [m<sup>3</sup>/h] ※1</th> <th>貯槽等への注水の実施</th> <th>冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]</th> <th>平衡温度 [°C]</th> <th>必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1</td> <td>高レベル廃液混合槽A</td> <td>約1.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約2.4</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液混合槽B</td> <td>約1.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約2.4</td> </tr> <tr> <td>供給液槽A</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約6.1×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>供給液槽B</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約6.1×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>供給槽A</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約2.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2</td> <td>第1高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約82</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td>第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約82</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3</td> <td>第1高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約62</td> <td>約3.0</td> </tr> <tr> <td>第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約62</td> <td>約3.0</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5</td> <td>高レベル廃液共用貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約82</td> <td>約13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 高レベル廃液等が沸騰するものの貯槽等への注水開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※3 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>	機器グループ	拡大防止対策（貯槽等への注水）			拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）			蒸発速度（飽和水） [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実施	冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]	平衡温度 [°C]	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1	高レベル廃液混合槽A	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4	高レベル廃液混合槽B	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4	供給液槽A	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>	供給液槽B	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>	供給槽A	約1.2×10 <sup>-2</sup>	約3.5×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約2.4×10 <sup>-1</sup>	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13	第2高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5	高レベル廃液共用貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13	<p>(つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器グループ</th> <th colspan="3">拡大防止対策（貯槽等への注水）</th> <th colspan="3">拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）</th> </tr> <tr> <th>蒸発速度（飽和水） [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>供給流量 [m<sup>3</sup>/h] ※1</th> <th>貯槽等への注水の実施</th> <th>冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]</th> <th>平衡温度 [°C]</th> <th>必要流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1</td> <td>高レベル廃液混合槽A</td> <td>約1.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約2.4</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液混合槽B</td> <td>約1.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約2.4</td> </tr> <tr> <td>供給液槽A</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約6.1×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>供給液槽B</td> <td>約2.9×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約60</td> <td>約6.1×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>供給槽A</td> <td>約1.2×10<sup>-2</sup></td> <td>約3.5×10<sup>-2</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約2.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2</td> <td>第1高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約85</td> <td>約17</td> </tr> <tr> <td>第2高レベル濃縮廃液貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約85</td> <td>約17</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3</td> <td>第1高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約62</td> <td>約3.0</td> </tr> <tr> <td>第2高レベル濃縮廃液一時貯槽</td> <td>約1.5×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約62</td> <td>約3.0</td> </tr> <tr> <td>高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5</td> <td>高レベル廃液共用貯槽</td> <td>約6.2×10<sup>-1</sup></td> <td>※2</td> <td>約102</td> <td>約85</td> <td>約17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸発速度に対して3倍の流量で注水した場合                  ※2 高レベル廃液等が沸騰するものの貯槽等への注水開始前までに、冷却コイル等への通水が完了する貯槽                  ※3 冷却コイル等1本に通水した場合の平衡温度</p>	機器グループ	拡大防止対策（貯槽等への注水）			拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）			蒸発速度（飽和水） [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実施	冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]	平衡温度 [°C]	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1	高レベル廃液混合槽A	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4	高レベル廃液混合槽B	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4	供給液槽A	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>	供給液槽B	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>	供給槽A	約1.2×10 <sup>-2</sup>	約3.5×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約2.4×10 <sup>-1</sup>	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17	第2高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0	高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5	高レベル廃液共用貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17
機器グループ		拡大防止対策（貯槽等への注水）			拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）																																																																																																																																																						
	蒸発速度（飽和水） [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実施	冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]	平衡温度 [°C]	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1	高レベル廃液混合槽A	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4																																																																																																																																																					
	高レベル廃液混合槽B	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4																																																																																																																																																					
	供給液槽A	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
	供給液槽B	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
	供給槽A	約1.2×10 <sup>-2</sup>	約3.5×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約2.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13																																																																																																																																																					
	第2高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0																																																																																																																																																					
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5	高レベル廃液共用貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約82	約13																																																																																																																																																					
機器グループ	拡大防止対策（貯槽等への注水）			拡大防止対策（冷却コイル等への通水による冷却）																																																																																																																																																							
	蒸発速度（飽和水） [m <sup>3</sup> /h]	供給流量 [m <sup>3</sup> /h] ※1	貯槽等への注水の実施	冷却コイル等への通水開始時温度 [°C]	平衡温度 [°C]	必要流量 [m <sup>3</sup> /h]																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ1	高レベル廃液混合槽A	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4																																																																																																																																																					
	高レベル廃液混合槽B	約1.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約60	約2.4																																																																																																																																																					
	供給液槽A	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
	供給液槽B	約2.9×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約60	約6.1×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
	供給槽A	約1.2×10 <sup>-2</sup>	約3.5×10 <sup>-2</sup>	※2	約102	約2.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ2	第1高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17																																																																																																																																																					
	第2高レベル濃縮廃液貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ3	第1高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0																																																																																																																																																					
	第2高レベル濃縮廃液一時貯槽	約1.5×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約62	約3.0																																																																																																																																																					
高レベル廃液ガラス 固化建屋内部グループ5	高レベル廃液共用貯槽	約6.2×10 <sup>-1</sup>	※2	約102	約85	約17																																																																																																																																																					

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第7.2-23図 冷却コイル等への通水及び貯槽等への注水実施時の高レベル廃液濃縮缶に内包する高レベル廃液等の温度及び液量傾向</p>	<p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第7.2-23図 冷却コイル等への通水及び貯槽等への注水実施時の高レベル廃液濃縮缶に内包する高レベル廃液等の温度及び液量傾向</p>	<p>①高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う冷却コイル等への通水開始時温度の変更</p> <p>②高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う冷却コイル等への通水開始時の硝酸濃度の変更</p> <p>③高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第7.2-29 図 セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応実施時の高レベル廃液濃縮缶に内包する高レベル廃液等の温度、液量、放出及び蒸気の凝縮傾向</p>	<p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第7.2-29 図 セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応実施時の高レベル廃液濃縮缶に内包する高レベル廃液等の温度、液量、放出及び蒸気の凝縮傾向</p>	<p>①高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う冷却コイル等への通水開始時温度の変更</p> <p>②高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う冷却コイル等への通水開始時の硝酸濃度の変更</p> <p>③高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第 7.2-30 図 セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応実施時の分離建屋からの放出及び蒸気の凝縮傾向</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <p>※1 冷却コイル等への通水により事態の収束を図るため、貯槽等への注水には至らない</p> <p>第 7.2-30 図 セルへの導出経路の構築及び代替セル排気系による対応実施時の分離建屋からの放出及び蒸気の凝縮傾向</p> </div>	<p>高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更</p>





再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容 (令和2年7月29日許可)			修正後																	備考								
記号	作業番号	作業内容	作業日	経過時間(時:分)																								
設備整備	27	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2	00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00		
高レベル廃液発生防止	27	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2																									
	28	・内部グループへの過水保護(可搬型貯蔵装置内)	4																									
	29	・内部グループへの過水保護(ポンプ設備、弁設備)	4																									
	30	・内部グループへの過水保護(弁設備、漏れ確認、内部グループ停止確認、内部グループ過水保護確認)	4																									
	31	・貯蔵容量確認	2																									
高レベル廃液重大事故防止	32	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2																									
	33	・貯蔵容量確認	2																									
	34-1	・貯蔵容量確認	2																									
	34-2	・貯蔵容量確認	2																									
	35	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2																									
高レベル廃液発生防止	1	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
	2	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2																									
	4	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
	5	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
	6	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
	7	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
	8	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続、貯蔵容量確認	2																									
	9	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続、貯蔵容量確認	4																									
	42	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	4																									
	44	・可搬型貯蔵装置の設置及び貯蔵容量の確保	2																									
	高レベル廃液発生防止	8	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		10	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		11	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		12	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		13	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		14	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
		15	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																								
16		・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	2																									
17		・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続	4																									
高レベル廃液発生防止		36	・可搬型貯蔵装置内への搬送、接続、弁操作	4																								
		37-1	・漏れ確認	4																								
		37-2	・内部グループへの過水保護	4																								
		38	・漏れ確認、可搬型貯蔵装置内への搬送、貯蔵容量確認	2																								
		39	・ポンプ停止	2																								
		21	・可搬型貯蔵装置内への搬送	2																								
		29	・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																								
		高レベル廃液発生防止	39	・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																							
	40		・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																								
	41		・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																								
	22		・可搬型貯蔵装置内への搬送	2																								
	23		・可搬型貯蔵装置内への搬送	2																								
	24		・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																								
	25		・可搬型貯蔵装置内への搬送	4																								
	26		・可搬型貯蔵装置内への搬送	2																								

高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更

第7.8-2図 地震を要因とした重大事故等が同時発生した場合の分離建屋における必要な要員及び作業項目(その5)

第7.8-2図 地震を要因とした重大事故等が同時発生した場合の分離建屋における必要な要員及び作業項目(その5)





再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）	修正後	備考
<div data-bbox="341 535 1276 1543" data-label="Figure"> <p>6時間40分 機器圧縮空気自動 供給ユニットから の圧縮空気供給開 始</p> <p>15時間40分 可搬型空気圧縮機 からの圧縮空気供 給開始</p> </div> <p data-bbox="231 1581 1299 1696">第7.3-13図 水素爆発を未然に防止するための空気の供給実施時の硝酸プルトニウム貯槽の水素濃度の傾向（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p>	<div data-bbox="1439 535 2374 1543" data-label="Figure"> <p>6時間40分 機器圧縮空気自動 供給ユニットから の圧縮空気供給開 始</p> <p>15時間40分 可搬型空気圧縮機 からの圧縮空気供 給開始</p> </div> <p data-bbox="1332 1581 2401 1696">第7.3-13図 水素爆発を未然に防止するための空気の供給実施時の硝酸プルトニウム貯槽の水素濃度の傾向（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）</p>	<p data-bbox="2418 1031 2831 1234">計算条件（圧縮空気自動供給ユニットの流量設定）の誤りを修正したことに伴う図の適正化</p>

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）

添付書類八 添付1 2. 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための手順等

Table with 4 columns: 作業番号, 作業内容, 作業方法, 作業時間. Contains detailed operational procedures for cooling system maintenance and emergency response.

第2-21図 蒸発乾固の拡大防止対策 タイムチャート（5/15）

修正後

添付書類八 添付1 2. 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための手順等

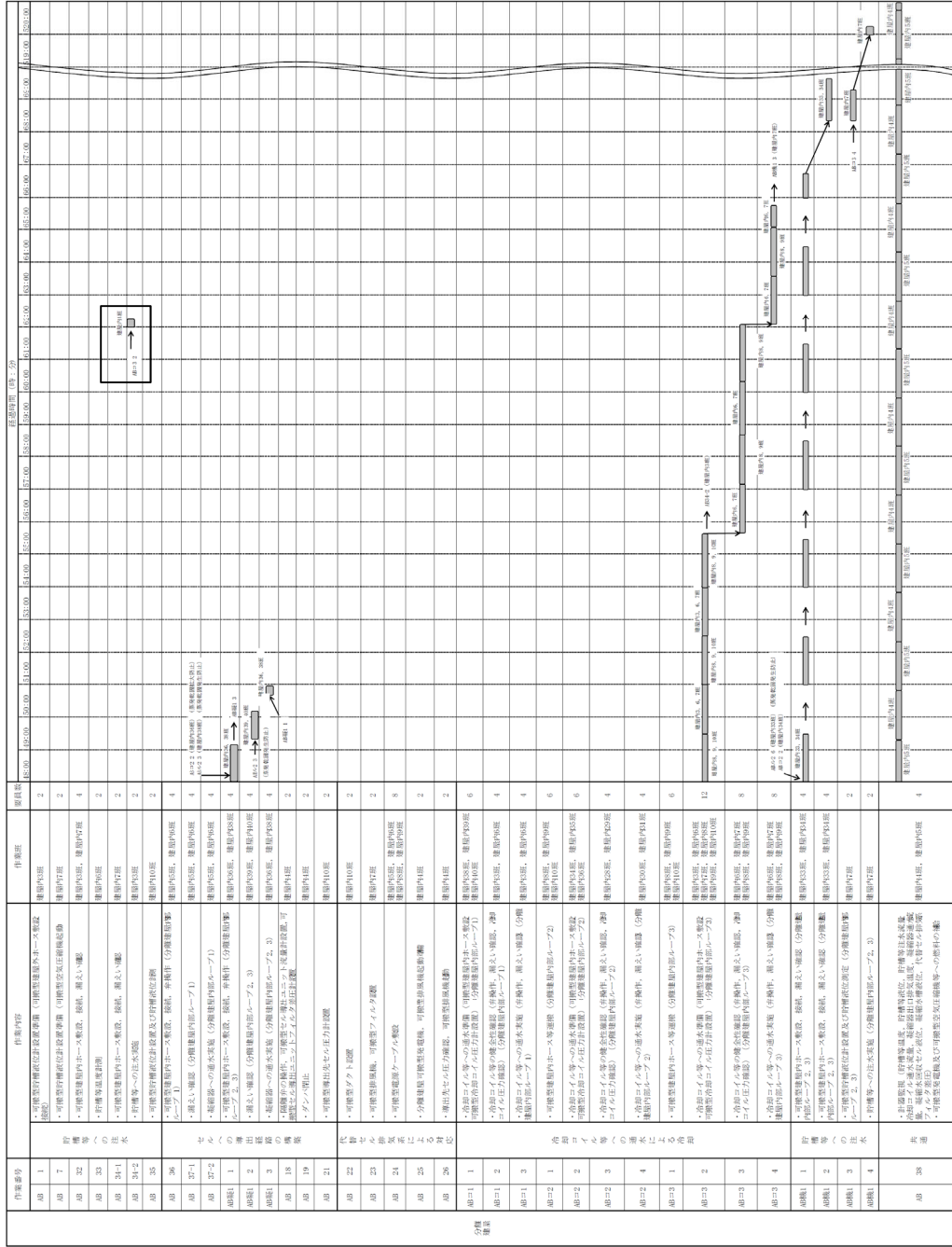
Table with 4 columns: 作業番号, 作業内容, 作業方法, 作業時間. Updated version of the operational procedures table, including revised diagrams.

第2-21図 蒸発乾固の拡大防止対策 タイムチャート（5/15）

高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更

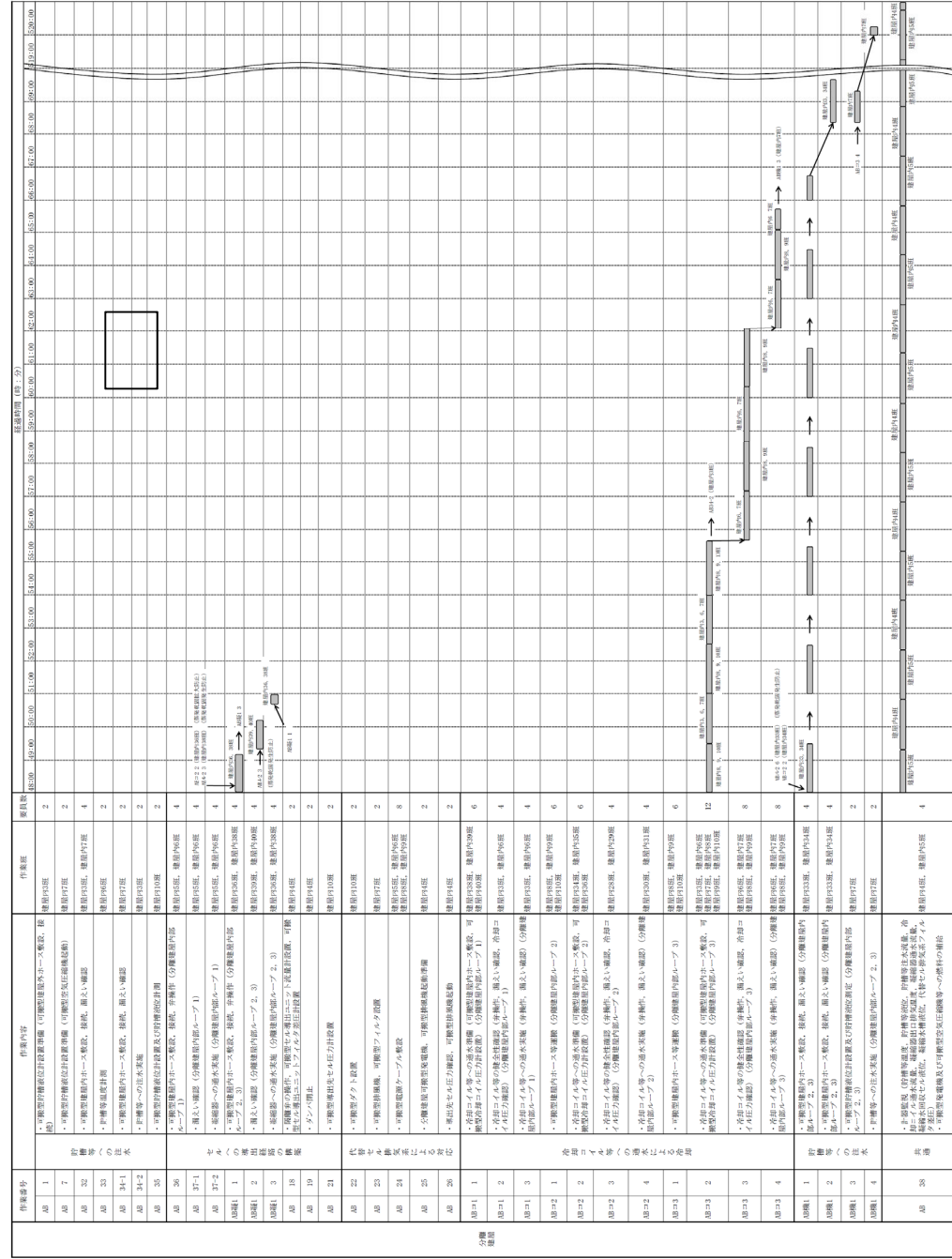
再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）



第2-21図 蒸発乾固の拡大防止対策 タイムチャート（6/15）

修正後



第2-21図 蒸発乾固の拡大防止対策 タイムチャート（6/15）

備考

高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更

再処理事業変更許可に係る正誤表

記載内容（令和2年7月29日許可）				修正後				備考	
対象	作業	要員数	経過時間（時：分）	対象	作業	要員数	経過時間（時：分）	高レベル廃液濃縮缶の蒸発速度修正に伴う注水開始時間の変更	
作業番号	作業	要員数	経過時間（時：分）	作業番号	作業	要員数	経過時間（時：分）		
1	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00	1	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00		
2	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00	2	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00		
3	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00	3	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00		
4	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00	4	給水処理設備等から貯槽等への注水（準備）	実施責任者 1 建設対策班長 1 A,B 2 C,D 2 A,B 2 E,F,G,H 4	1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00 28:00 29:00 30:00 31:00 32:00 33:00 34:00 35:00 36:00 37:00 38:00 39:00 40:00 41:00 42:00 43:00 44:00 45:00 46:00 47:00 48:00 49:00 50:00 51:00 52:00 53:00 54:00 55:00 56:00 57:00 58:00 59:00 60:00		
第2-26図 分離建屋の給水処理設備等から貯槽等への注水 タイムチャート				第2-26図 分離建屋の給水処理設備等から貯槽等への注水 タイムチャート					